

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25008

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇子ども・保護者（R7年度末評価より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学習に向かい、自身の学力に自信をもって学んでいる児童が多い。 ・保護者 <p>◇教員（R7）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修や「若手」を軸にした交流の機会を基に、授業づくりや「振り返りの仕方」など、各教員が学び直し、実践していく場となっていた。 <p>◇自治的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西岡北中学校区でのあいさつ活動 ・「プラスのまほう」を視点に児童アンケート→子ども自身が目指す学校像の共有 	<p>◇四則計算や文章読解、漢字の書き取りなど、基礎基本の学習内容の定着が十分でない実態が多い。（R7 さくらっ子を語る会、学力テストより）</p> <p>◇共通指標から「自分が思ったことや感じていることを人に伝えている」「自分の意見を進んで発言しようとしている」の割合が低下しているため、児童の学習に対する自信を見取りづらい。児童間で意見を伝え合う際に、安心した環境で発言しあうことができていない。</p> <p>◇「話の内容の大体を捉える」「感想などを伝え合う」など、児童間の交流に関する項目が全国と比べて低い。（学力テストより）</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の態度〉の現状と課題	
<p>◇令和7年度共通指標の結果から「自分にはよいところがある。」「人のよいところを見付けようとしている。」「自分の意見を進んで発言しようとしている。」「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている。」「意見を発言する前に、自分の考えがうまく伝わるように、話の内容や順序を考えている。」の項目も割合も低い。以上のことから、自分や他者の良さを感じながらも、それをうまく伝えられずいたり、伝えられない環境があったりすることによって、安心できる環境ではなく、自分を守るべき環境での学習となり、児童間での交流に自信をもつことができないという課題があると考えられる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 チャレンジ&スマイル（チャレンジ…主体性・自己決定→自己肯定感/スマイル…挨拶・相互承認→自己有用感～経営方針から）

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p><input type="checkbox"/> 研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑相の会（一人一研修、若手を囲む会）→実践や困り、知識を共有・交流 <p>→日々の授業改善と児童の意欲の向上</p> <p>→各研修の振り返り（次年度の内容の見直し等）</p>	<p><input type="checkbox"/> 異学年交流（ふれあい遊び）の充実</p> <p><input type="checkbox"/> さっぽろっ子自治的な活動に向けての連携</p> <p><input type="checkbox"/> あいプロジェクト（挨拶を自治的な活動に）</p> <p><input type="checkbox"/> 心理的安全性の確保（ピア・サポート）</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇ICT教材やツールに関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> →各ツールを活用し、児童が主体的に課題に向かうことができるような環境の整備を行うとともに、教員研修の機会を設ける。 <p>◇クラスルーム等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> →児童委員会ごとにクラスルームを作成し、活動の共有や記録をできるようにする。 <p>◇ICTを用いた単元テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> →ICTを用いた単元テストの導入に向けて、今年度は高学年で実施する。 		

<本プログラムの実行に向けて>

